

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

日本の製造の強さはオープンイノベーションによる

古森 重隆 (富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. ここ最近「オープンイノベーション」という言葉をよく聞く。社内のリソースだけでなく社外にも広く門戸を開き、イノベーションを「共創」していくという言葉だ。経営学が提唱する新しい動きだ。それは、一言で言えば「すり合わせ」だ。日本企業は、研究者、技術者、さらに工場で実際に作る人たち、売る人たちに至るまで、全従業員がそれぞれ考え、コミュニケーションをお互いに取り合いながら、製品を作り上げていく。
2. 工場、研究所、営業部隊などの部門の壁を超えて従業員同士がタテとヨコでコミュニケーションを取り、それぞれ単独では生み出せなかった価値を創造していく。この現場の「すり合わせ」とは、言ってみれば「社内におけるオープンイノベーション」である。つまり、日本企業には、もともとオープンイノベーションを強みとする素地があったのだ。
3. 当社は、主力だった写真フィルム事業の売り上げが激減していくという現実を前に、生き残りをかけて事業の多角化を図った。化学から工学、物理学まで、フィルム開発のために社内で培ってきた様々な技術を組み合わせることで、何か新しいものが作り出せないかを考えた。足りないものがあれば、M&A (合併・買収) によって社内に取り入れた。結果として、医薬品、化粧品など様々なニーズに結実させることができた。オープンイノベーションは、そうした価値を創造する結びつきを生み出す原動力と言える。

(参考:「日経ビジネス」2015年10月26日号)

幹部への活きた言葉

リーダーは情熱と誇りと自信を持つ

金井 誠太 (マツダ会長)

1. リーダーは社員に夢と希望を持たせ、情熱と誇りと自信を持って仕事をしてもらわなくてはなりません。そのためにはリーダーに夢と志が不可欠だと思います。その夢と志を理解してもらうことによって、社員は自ずと成長していくと私は信じています。
2. 日本が今後も繁栄を続けるためには、他の国以上に付加価値の高い技術を生み出して、人類に貢献をする。こういう生き方しかないだろうと思っています。そしてその技術を生み出すのは人です。突き詰めれば、日本の最大の資源は人だと思います。そしてそれを育むのは、まさにリーダーの志だと思います。

(参考:「致知」:2016年1月号)

経営者のための危機管理

GMS (総合スーパー) を負かすカテゴリーキラー

1. 総合スーパー (GMS) 苦戦の背景には「カテゴリーキラー」と呼ばれる専門店業態の台頭がある。衣料品や家具・家電など特定分野に特化した豊富な品ぞろえを武器に、GMSから顧客を奪っている。その筆頭格が「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングやカジュアル衣料のしまむらだ。
2. 国内ユニクロ事業の売上高は過去 10 年で 2 倍の 7800 億円へと拡大。しまむらも 4 割以上伸ばしている。一方、GMS の衣料部門は同じ期間で約 4 割減となり、6000 億円以上を失うなど、勢の差は歴然としている。今後もその差は広がりそうだ。ユニクロは国内店舗数が約 840 店舗で横ばいだが、スクラップ・アンド・ビルドで店舗を大型化しており、店舗面積は右肩上がりだ。全国 1300 店を展開するしまむらは、郊外から都市部へ出店攻勢をかける方針だ。

(参考:「週刊東洋経済」2015年10月24日号)

古典に学ぶ

サムライという家系や階級

(解説) この階級は当然のことながら、永い間たえず戦いを続けているうちに、最も勇独で最も冒険好きな連中から徴集され、排除の過程が進行するあいだに、臆病柔弱な者は選り落とされ、エススン (アメリカの詩人、思想家) の句をかりれば、「全く男性的で、野獣のような力をそなえた荒っぽい種族」だけが生き残って、サムライという家系や階級を形づくった。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造「武士道」:教文館)